

2025 年 10 月 10 日

Bishu Material Exhibition

【最終報告】

**会期 2 日間で 717 名が来場、
1 社平均 514 点のサンプルリクエスト**

シーズン	2026/27 秋冬
会 期	2025 年 9 月 25 日 (9:30-18:00)、26 日 (9:30-17:00)
会 場	WITH HARAJUKU HALL 及び LIFORK 原宿

公益財団法人尾州ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は、9 月 25 日・26 日の 2 日間、「2026/27 Autumn&Winter Bishu Material Exhibition（以下、「BME」）」を東京都渋谷区神宮前の WITH HARAJUKU HALL で開催した。30 回目となる今回の BME には尾州産地のテキスタイルメーカー 13 社が参加し、約 1,340 点の新作と FDC が提携しているパリのネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材 154 点を展示して商談を進めた。

今回も引き続き会場をファッションの街である原宿で行った。

その結果、展示会の来場者は、2024 年に開催した秋冬展と比較して、約 18%減の 717 名（学生入場者を除く）となった。また、出展企業 13 社の合計サンプルリクエスト点数は延べ 6,694 点で、社数では延べ 1,004 社となった。

前年まで周辺で同時期に開催されていた展示会の日程変更などの影響もあり来場者数は前年を下回ったものの、サンプルリクエストは出展企業の増加もあり、前年比で 15%増、社数は前年比で 21%増となり、平均でも前年を上回り、各企業で活発な商談が行われた。

生地傾向としては、ウール素材やウール複合素材、ツイードのほか軽く、薄い素材が人気だった。色使いではベージュなど落ち着いた系統の人気が高かった。

今回は LIFORK 原宿にて特別展示を行った。BME30 回を記念した「BME 展 30 回記念アーカイブ展」では年表や過去の展示会で製作されたガーメントの展示を行った。併せて「尾州のリサイクルウールの今」と題し、尾州産地における再生ウールの取り組みを紹介する展示も行った。古くから行われているウールのリサイクルについてパネルや素材、製品を展示し、サステナブルな取り組みについて PR を行った。

また昨年に引き続き(株)糸編 代表取締役 宮浦晋哉氏を講師に招き、今後活躍が期待される若手デザイナーを対象に尾州産地の講習会を開催した。講習会には尾州ファッションアンバサダーの北原里英さんも参加し、参加者は積極的に尾州産地の特色を学んでいた。参加者からは産地の各企業の特徴を学び、実際の生地を見ることでその技術を確かめることができたとの声があった。

来場者の業種別内訳は次ページのとおり。

【以下、展示会各種数値】

＜第 30 回 2026/27 秋冬 BME の来場者の内訳＞

	アパレル	小売	商社・問屋	制服・ユニフォーム インテリア	その他	計
1 日目	144 名	13 名	158 名	0 名	68 名	383 名
2 日目	152 名	14 名	116 名	1 名	51 名	334 名
計	296 名 (41.3%)	27 名 (3.8%)	274 名 (38.2%)	1 名 (0.1%)	119 名 (16.6%)	717 名 (100.0%)

※学生入場者を除く

＜第 30 回 BME のサンプルリクエスト状況＞

	アパレル		小売		商社・問屋		制服・ユニフォーム インテリア		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1 日目	199	1,188	62	336	164	968	0	0	19	62	444	2,554
2 日目	278	2,119	31	238	244	1,745	0	0	7	38	560	4,140
計	477	3,307	93	574	408	2,713	0	0	26	100	1,004	6,694

【会場の様子】

▼展示会 会場内



▼セミナー 会場内



▼北原里英さんが展示会を見学する様子



＜本資料のお問い合わせ＞

(公財) 尾州ファッションデザインセンター
事務局長 永山
担 当 吉住
電 話 : 0 5 8 6 - 4 6 - 1 3 6 1
内線番号 : 7 9 4 5